

類型

1

京都市

マイルド山本マジック教室

年間 120 回のマジックショーと
毎年 1 回のハンセン病患者への慰問。

マジックショーでボランティア

10年ほど前、マジシャンのマイルド山本さんのマジックショップに、及川忠考さんがマジック用品を購入に行ったのがきっかけで出会い、意気投合し、及川さんが主宰者となって「マイルド山本マジック教室」を開設しました。

毎月、打ち合わせをして、マジックショーの企画、日程調整を行い、年間 120 回のマジックショーや月 4 回のマジック教室、福祉施設でのマジックショーなどのボランティア活動を行っています。

隔離・差別されていた
ハンセン病患者を慰問したい

マジック教室を運営する傍ら、及川さんはマジックで福祉施設の慰問に回りたいと考えていました。平成 11 年の新聞に掲載されていた「ハンセン病患者が隔離されて差別を受ける実態を知ったシャンソン歌手が



マジックショー



教室の仲間と

慰問活動をしている」という記事を記憶していたからです。

介護老人保健施設のデイサービスで「マジックをさせてほしい」と頼みこんだところ、施設でマジックショーを行うことが出来ました。ショーは大好評で、口コミで評判が広がり、京都府や滋賀県内の施設からマジックショーの依頼が来るようになりました。

3年前に、念願だったハンセン病患者の施設からも依頼があり、約 300 人の入所者たちの前で及川さんが手品を披露したところ、「初めてマジックを見た」と喜ばれ、涙が出るほどうれしかったそうです。

マジックを通して社会に貢献したい

「今後も保育所や高齢者施設などからのリクエストに応じられるよう、構成員を増やし、活動を広げていきたいという強い思いがあります。また、東日本大震災で被災し、仮設住宅で暮らしている人たちや日本で 13 か所あるハンセン病の療養所にも慰問したい」「積極的な社会参加活動を継続して、マジックを通して高齢者の生きがいづくりに貢献していきたい」と及川さんは考えています。